

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

講習題名	福井県の山にいるマダニ
発表会名	福井山岳会勉強会および安全登山教室
発表者名	石畝 史（保健衛生部細菌研究グループ）
会 場	福井市福井山岳会事務所および小浜市公民館
発表日時	平成20年8月28日（木）、9月7日（日）
発表内容	福井県内の山で採集されたマダニは13種類あり、そのうち病原体を媒介するマダニは、シュルツェマダニ（ライム病ボレリア）、ヒトツトゲマダニ（紅斑熱群リケッチア症）、ヤマトマダニ（ダニ媒介性脳炎、ヒトバベシア症）、キチマダニ・フタトゲチマダニ・タイワンカクマダニ（日本紅斑熱）である。これらの疾患のうち、現在のところ福井県で発生の可能性があるのは、前二者のライム病ボレリアと紅斑熱群リケッチア症である。 この2疾患を媒介するマダニの分布状況を県内についてみると、シュルツェマダニは取立山、法恩寺山、経ヶ岳、赤兎山、刈込池、荒島岳、部子山および冠山の標高約1,000m以上の地点、ヒトツトゲマダニは荒島岳、経ヶ岳、刈込池、冠山、野坂岳および百里ヶ岳で確認されている。したがって、これらの山を登山するときにはマダニ刺傷に対しては特に注意が必要である。